

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

I	総括	1
II	諸活動報告	2
	1 地域福祉活動	2
	2 ボランティア活動	5
	3 生活支援サービス活動	7
	4 児童家庭福祉（エンゼル）活動	8
	5 障害者福祉活動	8
	6 高齢者福祉活動	14
	7 福祉学習（教育）啓発活動	24
	8 調査・情報活動	27
	9 組織基盤づくり活動	28
	10 団体支援活動	31
	11 町指定管理事業	32
	12 諸会議	33
III	役員状況	36
	1 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員状況	36

令和6年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

I 総括

少子高齢化がさらに進行し、「2025年問題」といわれるように、令和7年はいわゆる「団塊の世代」の方たちが75歳以上となります。住民ニーズは多様化・複雑化しており、様々な地域生活課題が広がっています。

このような状況下、「ともに暮らせるまちづくり」を福祉目標に、令和7年4月から始まる第8次猪名川町地域福祉推進計画を策定しました。こどもから高齢者まで全ての住民が「地域共生社会」の実現に向け、引き続き支え合いや地域づくりに向けた取り組みを促進していきます。

地域福祉関連では、大島小校区で地域の支え合い活動の団体が立ち上がり、活動支援を行い、また地域課題である移動の課題について、地域応援ボランティア養成講座を開催し、自宅から通いの場へ移送を目的とした移動支援のボランティアグループの立ち上げ支援を行いました。脳健康教室は新たに4か所目の教室として天河草子で教室が立ち上がり、認知症カフェでは北部や南部で移動型オレンジCafeを開催、健康長寿体操教室の自主教室は新たに1教室増えて20教室となり、いきいき百歳体操は20か所で百歳体操の体験会を開催し、新たに教室が3か所立ち上がり計4教室となりました。

相談支援関連では、地域包括支援センターや障害者相談支援センターで複合的な課題のある世帯、認知症などの幅広いケースに対応しながら関係機関などと連携し、課題解決に向け相談支援を行うとともに、他の地域包括支援センターや障害者相談支援事業所と連携し、基幹的な役割を担いました。その他相談支援では、生活困窮者支援においてアンケートや食料支援を実施、権利擁護については司法書士会の協力を得て新たな相談窓口を開設しました。また猪名川町社会福祉法人連絡会（ほっとかへんネット猪名川）では2か月に1回実務者会議を開催、協議し、年2回のフードドライブへ参画、いながわまつりでは初めてブースを構えるなどの啓発をし、町内の社会福祉法人と連携することができました。

希望の家すばる、ゆうあいデイサービス、ヘルパーステーションなどの自主事業では新規利用者の受入れとともに、利用者への個別支援、専門性向上のための様々な研修や事例検討等を行い、支援プログラムの充実やサービスの質の向上に取り組みました。

このように令和6年度は、さまざまな活動や事業を通じて地域住民や関係団体に働きかけ、地域での支え合いや居場所づくりを進めるとともに、課題解決に努めました。また第8次猪名川町地域福祉推進計画の計画策定にあたり正規職員全員が参加する「社協あり方会議」を立ち上げ、様々な検討や協議を重ね、事務局としてもワンチームとなって取り組むことができました。

法人全体の資金収支では、令和6年度は収入総額430,931,179円（対前年度比0.1%増）、支出総額406,170,726円（対前年度比3.7%減）となり、収支差額24,760,453円の黒字となりました。

以下、ここに令和6年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

II 諸活動報告

1 地域福祉活動

(1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。

ア 福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会4回）

全体会として福祉委員の役割について等の説明を行い、役員会では、全体で実施する活動についての協議などを行いました。第2回全体会では防災士の会の方々を講師に迎え、防災について知識を深める機会となりました。

イ 猪名川町SOSネットワークの協力・認知症サポーター養成講座を実施

地域での見守り体制の構築に向けて、認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を地域の関係団体等と実施しました。令和6年度も4地区で捜索訓練を実施できました。商業施設の協力も得られ、地域全体で命を守る取り組みとして行うことができました。

ウ 民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

地区・校区での交流会等を計画し、顔の見える関係づくりに努めました。

エ 健康福祉まつりへの参加・活動PR

令和6年度健康福祉まつりは中止となりましたが、次年度に向けて内容の検討等を行いました。

オ 社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などの募金活動も取り組みました。

校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	映画会、出前講座、盆踊り、いっぷく亭共催（演奏会・ランチ会・スポーツ吹き矢体験会）、地区福祉委員会定例会等
原・松尾台地区	ストレッチ体操、自治会・民生委員・児童委員・社協との交流会、地区福祉委員会定例会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（スポーツ大会、甲英文化祭、グラウンドゴルフ、健康教室）等
猪名川小校区	健康教室（体操・サロン）、むつみ会活動支援、サマーフェスティバル、秋祭り、オレンジcaféへの参画等
つつじが丘小校区	ふれあいサロン、いこいの会、歌声喫茶、モルック、カフェサンテ（お花見、健康体操、歌声喫茶等）等
白金小校区	ほっとサロン絆（月1回）、土曜サロン（隔月1回）、モルック指導、研修会（施設見学）、校区民生委員との交流会、広報誌発行等
楊津小校区	盆踊り大会、福祉落語会、校区定例会、民生委員・児童委員との連携・交流会、地区ごとの活動等
大島小校区	福祉落語会、各地区でのサロン活動や戸別訪問、民生委員・児童委員との連携・交流会等

(2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

月別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	133	168	137	174	103	142	186	149	152	153	146	150	1,793
1回あたりの平均配食数	31	33	34	35	34	35	37	37	37	38	37	38	36

※令和5年度実績1,495食、1回あたりの平均配食数32食

(3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・知的障がい者など）が安心して暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。延べ相談援助件数は27件となりました。生活支援員による支援業務については、令和7年3月末時点で4件（認知症高齢者等：3件、精神障がい者等：1件）となりました。

(4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活困窮者に対して相談支援を実施し、地域づくり講演会も開催しました。

ア 生活福祉資金の相談・貸付

低所得者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れることを目的として事業を実施しました。本則の生活福祉資金では福祉資金・福祉費が0件、福祉資金・緊急小口資金が0件、教育支援資金が継続貸付3件、結果、貸付に至らない相談は多くありましたが、新規の貸付は0件でした。

イ 自立支援に向けて関係機関との連携

生活福祉資金貸付に至らないケースは食糧支援を活用しての関係づくりや、自立支援相談機関の「神戸冬を支える会」や町主催の会議など関係機関と随時連携を図りました。また令和6年度も困窮支援学ぶ機会として講演会を開催し、定員を上回る参加者が集まり、住民啓発および支援者同士がつながる場となりました。

開催日：3月1日（土）

場 所：猪名川町文化体育館イナホール（小ホール）

内 容：①講演「チロル堂にまほうをかけるのは地域の大人の関心」

講師：まほうのだがしやチロル堂 共同代表 石田慶子氏

②実践報告「3年間の軌跡」

報告者：つつじがおか食堂・ぼかぼか食堂 代表 長岡京子氏

参加者：85名

ウ 心配ごと相談

毎月3回、民生委員・児童委員が輪番により町内3か所で実施しています。相談件数は6件でした。

(5) 生活困窮者支援体制強化事業（ほっとかへんネットワーカー配置事業）

令和5年度より、新型コロナ特例貸付の借受世帯や生活困窮状態が続く世帯が安心して暮らすことができるよう必要な支援と地域内のセーフティネットの充実を通じた社会的孤立、排除の解消、予防を図ることを目的として始まった12カ年事業です。特例貸付の借受世帯等への相談支援（生活相談、償還免除・猶予等の相談・手続き支援等）、実態把握のため7月にアンケート調査と食料支援（1回目）を行い、アンケートは205件中57件回収（回答率27.8%）、48世帯に食料配布しました。12月には特例貸付の免除・猶予の案内や国民年金保険料の免除・納付猶予制度の案内と食料支援（2回目）を行い、53世帯に食料配布しました。食料は、コープこうべやモノタロウからの食料提供と、6月・11月のフードドライブ（2回）では町内社会福祉法人（ほっとかへんネット猪名川）や商工会女性部会・行政関係・町内医療・福祉関係事業所など、昨年度より賛同いただける事業所が増え、計24事業所からご協力いただきました。

2 ボランティア活動

(1) ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

ア ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位:件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	令和6年度実績	令和5年度実績
一般住民	30	3	0	1	0	0	0	8	42	63
ボランティア・市民活動団体	2	67	5	16	3	2	0	44	138	136
福祉施設・病院	0	336	1	2	0	0	0	1	340	296
行政機関	0	15	2	4	0	0	0	8	29	51
社協	0	295	3	0	1	0	0	0	298	297
福祉団体	0	6	0	1	0	0	0	2	9	23
学校・教育機関	1	4	28	11	1	0	0	11	56	61
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	33	726	39	35	5	2	0	74	912	929

ボランティア活動延べ人数 2,597名 (令和5年度実績2,777名)

ボランティア活動内容

一般住民	ボランティア活動の希望
福祉施設・病院	お茶出し・ドライヤーの手伝い、お話相手、囲碁将棋の相手、散髪、レクリエーションボランティア等
行政機関	音訳CD作成、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、福祉学習の手伝い、登録ボランティアグループの活動依頼等
福祉団体	聴覚障がい者・視覚障がい者に関する情報発信・当事者団体のサポートなど
学校・教育機関	視覚・聴覚障がいの学習、認知症サポーター養成講座、福祉講演会の講師の相談、福祉学習機材の貸し出し等

イ ボランティアに関する情報提供・啓発

(ア) ボランティアの啓発

社協だよりにおいて、登録ボランティアグループの紹介を毎回掲載するとともに、2か月に1回ボランティア通信の発行も継続し、多くの方々への紹介に努めました。また町内事業所の協力により各種ボランティア講座やボランティア募集の案内チラシを設置し、ボランティア活動の啓発に努めました。

(イ) 啓発用冊子等の配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「笑顔いっぱいボランティア活動」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布。主に学校での福祉学習体験時に配布し、啓発に努めました。

ウ 機材貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。

エ ボランティアグループ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動者の育成、及び活性化を図ることを目的にボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しました。登録ボランティアグループ6団体からの申請に基づき助成金交付を行い、各グループが地域で活動されました。

オ 兵庫県ボランティア・市民活動共済

令和6年度の件数は120件、加入者数は1,409名でした。その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は24件、加入者数は529名となりました。

カ ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会

(ア) 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を目的に、運営委員会を設け、年2回開催しました。

(イ) ボランティアグループ連絡会

ボランティア活動に関する連絡調整のため登録グループ参加のもと年3回実施しました。

キ 災害ボランティアセンター運営

ボランティアの役割・災害ボランティアセンターの運営について災害ボランティアと職員合同で講師から講義を受けました。参加人数 計20名

ク ボランティア養成講座

下表のとおり各種ボランティア養成講座を開催しました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画に努め、ボランティア活動の担い手の育成に努めました。

	講座名	開催日 (期間)	開催場所	参加者数 (令和5年度実績)
1	災害ボランティア養成講座	7月7日 (日)	総合福祉(ゆうあい)センター	30名 (49名)
2	サマーボランティアアスクール 2024	7月20日(土)～8月31日(土) 希望活動日	総合福祉(ゆうあい)センター・町内事業所	35名・延べ77名 (31名・延べ65名)
3	猪名川町地域応援ボランティア養成講座	9月1日(日)・7日(土)12月5日(木) 計3回	総合福祉(ゆうあい)センター	延べ57名 (22名)
4	手話奉仕員養成講習会 (入門編)	10月18日～3月14日 毎週金曜日 計20回	日生公民館	20名・延べ285名 (12名・255名)
5	点訳ボランティア養成講座	6月5日・19日・7月3日・17日	総合福祉(ゆうあい)センター	13名・延べ46名
6	要約筆記啓発講座	10月26日(土)・10月31日(木)・11月7日(木)	総合福祉(ゆうあい)センター・日生公民館	延べ49名 (43名)
7	災害登録ボランティア交流会	8月24日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	延べ18名 (20名)

3 生活支援サービス活動

(1) 福祉用具貸出・相談活動事業

町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具の貸出を実施しました。

令和6年度は、昨年同様外出目的や日常生活の中で利用される方が多く、新規の貸し出し希望者も増加しています。

貸出件数

(単位：件)

貸出用具	車いす	ポータブルトイレ	歩行器	その他(杖・入浴関連)	合計
令和6年度	73	12	11	17	113
令和5年度	94	11	7	17	129
令和4年度	77	26	1	15	119

4 児童家庭福祉（エンゼル）活動

(1) 福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

ア ちびっこボランティア講座

例年、小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催しました。

開催日：12月21日（土）
内 容：手話でクリスマスを表現しよう
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 2F 研修室
参加者：14名

イ おもちゃ図書館（手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業）

ボランティアが制作した手作りおもちゃを地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。令和6年度貸出件数39件（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

5 障害者福祉活動

(1) 啓発活動・団体支援

ア イナワイ等の地域交流会啓発活動

障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等の啓発を目的として“製作”をテーマに活動しました。令和6年度はキーホルダーや置物の木工作品を製作しました。また、活動を通じて地域交流や啓発活動に取り組みました。（本事業は、一部共同募金の地域配分金を活用しています）

開催日：2月23日（日）
場 所：中央公民館
参加者：延べ9名参加

イ セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループに対して諸活動の協力及び活動支援を実施しました。

- ・ 身体障害者福祉会
- ・ 身体障害者父母の会
- ・ 手をつなぐ育成会
- ・ ころろ猪名川家族会

(2) ふれあい交流活動

ア ふれあい運動会

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいがづくり、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、地域の関係団体の方々と協働し開催しました。

開催日：6月22日（土）10：00～13：00
場 所：猪名川町立白金小学校
参加者：193名（令和5年度 参加者：138名）

イ ふれあいバスツアー

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を実施しました。令和6年度はふれあい運動会に参加された方が、バスツアーにも初めて参加するなど交流を図ることができました。また、バスへの乗車が難しい寝台型車いすユーザーの方のために初の試みで介護タクシーを導入し、参加していただくことができました。実施後のアンケートでは参加者同士の交流や親睦が深まったとの声があり、目的を達成する事ができました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

開催日：7月6日(土)

場所：三木市防災センター、あじさいフローラみき、道の駅みき

参加者：33名

ウ 障がい児・者運動教室

障がい児・者が運動活動としてレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援及び障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象とした体操教室を開催しました。

開催日：7月25日(木)・8月1日(木)・8日(木)22日(木)・29日(木)

場所：総合福祉(ゆうあい)センター

参加者：6名 延べ人数16名

(3) 障害者総合支援法事業

ア 多機能型事業所「希望の家すばる」運営

(ア) 就労継続支援B型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行いました。工賃向上の取り組みとして、生産活動の種類を増やし、それぞれの障害特性に応じた作業に取り組めるように支援体制を整え、月額平均工賃は前年度実績より増加しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	
	延利用者数	308	311	297	306	300	295	325	316	274	267	261	279	3,539

※ 令和5年度利用者数 合計3,490名

工賃支給状況

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和6年度	工賃支給額	156,600	204,700	274,700	303,300	390,900	325,200	216,300
	平均個人支給額	9,211	12,041	16,158	17,841	22,994	19,129	12,723
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和6年度	工賃支給額	298,100	328,400	151,700	312,300	346,873	3,309,073	
	平均個人支給額	17,535	20,525	9,481	19,518	21,679	16,569	

※ 令和5年度平均工賃支給額 13,568円

(イ) 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ及び食事等の生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行いました。利用者の障がいの重度化、多様化が進行している中で個々の障がい特性に合わせた必要な支援が行えるように定期的に内部研修を行いました。また、他事業所と事例検討を行い、親亡き後を見据えた自立支援プログラムの充実やサービスの質の向上に取り組みました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	22	23	21	21	21	22	21	22	22	22	22	22	
	延利用者数	364	382	353	398	372	348	386	347	342	332	311	364	4,299

※令和5年度利用者数 合計 4,287名

イ 障害者ホームヘルプサービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービス支援を行いました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	11	11	11	11	10	11	11	10	9	10	11	11	
	延利用者数	70	80	73	67	62	64	66	62	60	64	61	66	795

※令和5年度延べ利用者数 合計 1,004名

ウ 地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的として、創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供しました。令和6年度は、担当職員の退職などで利用人数が減ることもありましたが、季節ならではのイベントを企画するなどの工夫を行い利用者との関係構築に努めました。また、定期的な通所により生活リズムを整え、2名が就労系事業所へステップアップし、卒業されたため延べ利用者数は減少しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	10	9	7	9	8	8	10	9	6	8	9	8	475
	延利用者数	44	29	26	46	47	48	67	30	38	37	33	30	

※令和5年度利用者数 合計 609名

(4) 地域生活支援事業

ア 障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達の遅れが心配される児童を対象として、基本的な生活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。令和6年度は欠席も多くありながらも、新規の利用の開始や、複数の訓練の必要性の見られる児童が増えたため、延べ利用者数は増加しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	47	47	55	60	60	32	35	32	38	41	33	33	967
	延利用者数	72	81	93	92	74	76	88	75	83	78	75	80	

※令和5年度利用者数 合計 949名

イ 日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	6	7	7	6	6	6	7	7	6	6	5	8	
	延利用者数	30	44	44	56	60	56	65	52	56	46	47	55	611

※令和5年度利用者数 合計 402名

ウ 移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行いました。令和6年度は新規利用者があり利用者数が増加者しています。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	6	5	6	6	6	5	7	7	5	5	5	6	
	延利用者数	10	8	9	10	9	8	9	10	8	9	8	8	106

※令和5年度利用者数 合計 93名

エ 音訳・点訳広報紙

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、社協だよりや町広報などの音訳・点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシを町福祉課の協力のもと障がい者手帳所持者へ発送するなど啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や町福祉課等にも配布しています。令和6年度は利用者数4名、10月より3名。延べ利用回数156回となりました。(令和5年度の利用者数4名、延べ利用回数156回)

(5) 相談支援（就労支援）センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことを目的に相談支援事業を実施しました。

ア 総合相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、生活支援と就労支援を実施しました。障がいのある方とその家族が安心して地域で生活できるよう、様々な相談に応じ、必要な情報の提供や障害福祉サービスの利用支援、

権利擁護のための支援を行いました。令和6年度は、複合的な課題を抱える世帯への支援および専門性の高い困難なケースへの対応が多くあり、その問題解決に向けて、障害福祉サービスをはじめとした制度の情報提供、行政機関や関係機関との連携による総合的かつ包括的な支援、本人やその家族の不安軽減等につながるような精神的支援などに注力しました。また、住み慣れた地域で長く暮らしていけるよう、民生委員や自治会の方と連携して地域課題の解決に取り組みました。その他、相談業務に関するコンサルテーションを受けたり、事例検討の場を設けたり等、相談員の資質向上を図るとともに、他の相談支援事業所との連携を深め、地域の相談支援体制強化にも取り組み、必要に応じてその相談支援事業所への面接・訪問に同伴・同行支援を行い、指導・助言等の後方支援を行うなどの基幹的な役割を担いました。

令和6年度 相談支援を利用した障害者等の人数

(単位：件)

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次能	その他	実人数
障害者	20	2	43	57	12	7	27	168
障害児	18	2	37	1	87	0	70	215
計	38	4	80	58	99	7	97	383

※令和5年度実績 合計 376 件

令和6年度 支援内容件数

(単位：件)

支援内容	件数
福祉サービス等に関する支援	1,460
障害や症状の理解に関する支援	24
健康・医療に関する支援	217
不安の解消・情緒安定に関する支援	115
保育・教育に関する支援	37
家族関係・人間関係に関する支援	15
家計・経済に関する支援	10
生活技術に関する支援	7
就労に関する支援	231
社会参加・余暇活動に関する支援	5
権利擁護に関する支援	12
その他	169
計	2,302

※令和5年度実績 合計 2,615 件

イ サービス等利用計画

障がいのある方（児童）が抱える課題の解決及び適切なサービス利用に向けた計画策定の支援を行うとともに、計画の適切性、新たな課題の有無について定期的に評価を行いました。他の相談支援事業所へ一部安定したケースを中心に引き継いだ事例もあり、令和 5 年度と比較して件数は減少していますが、依然として精神障がいのある方が多い傾向にあり、ニーズは高まっています。

ウ 就労支援業務（就職支援・職場定着支援）（令和 6 年度 延相談件数 231 件）

猪名川町における障がいのある方の就労支援の中核として、就労を希望する障がいのある方に対する就職活動の情報提供や助言、個々の就労ニーズに応じたジョブマッチング支援、一般企業等へ就労した利用者に対して、自宅や職場への訪問支援を行い職場定着に係る支援、退職者に対する復職支援を行った。令和 6 年度、就労移行支援や就労継続支援 B 型事業所等から 14 名が新たに一般就労や就労継続支援 A 型事業所に移行することが出来た。

エ 自立支援協議会（専門部会の運営）

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として障がいのある方（児）が安心して暮らせる町づくりのための課題について事例検討を中心に検討しました。また、啓発セミナーを開催し、住民へ障害福祉の啓発を実施しました。

オ 障害支援区分認定調査

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障害の程度や生活の状況などについて調査を行いました。令和 6 年度の実績は 44 件となりました。（令和 5 年度実績 41 件）

6 高齢者福祉活動

(1) 介護保険事業

ア 高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰り提供しています。介護予防を目的とした口腔・運動訓練などを行い利用者の自立支援に、また様々なレクリエーションを展開し生きがいや楽しみにつながるよう努めました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	78	81	80	84	82	84	87	82	80	75	74	73	7,435
	延利用者数	614	671	635	611	643	604	682	683	550	585	567	590	

※令和5年度実績 合計7,618名

イ 訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、身体介護および生活援助を行いました。体調不良や在宅生活が困難となり利用が終了するケースも多々ありましたが、町内居宅介護支援事業所と連絡調整し、可能な限り利用者の受け入れを行いました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	73	76	77	80	82	79	78	76	74	72	71	70	6,828
	延利用者数	529	557	557	618	634	610	651	590	521	512	506	543	

※令和5年度実績 合計6,558名

(2) 高齢者生活支援事業

ア 軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を提案し、生活支援が必要な方に対し支援を実施しました。

利用者実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	実利用者数	14	12	11	11	11	9	12	13	10	10	9	9	378
	延利用者数	42	39	30	39	31	29	30	30	29	29	25	25	

※令和5年度実績 計370人

イ 生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの支援として町総合福祉（ゆうあい）センター

で運動系・文化系等の教室を開催し、閉じこもり予防の推進に努めました。1教室の参加者数を増やすため、いなぼうネットでも参加を募るなど啓発に努めた為、教室数は減少したものの、参加者数は維持できました。

教室開催回数 78 回、参加者数 151 名、延べ 1,003 名となりました。

(令和 5 年度 実施回数 92 回、参加者数 150 名、延べ 1,007 名)

(3) 地域支援事業

ア 地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケア推進を目的とし実施しました。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員等がその専門知識や技能を互いに活かしながら地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。また、基幹型地域包括支援センターとして、猪名川中学校区地域包括支援センターの後方支援を行ないました。

(ア) 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題を抱える相談などを介護サービス事業者や病院の医療相談員等多岐にわたる団体・機関から受け付けました。令和 5 年度同様、認知症関連や介護相談や生活支援導入に関するものが多いことに加え、独居や身寄りに乏しい高齢者の金銭管理や成年後見制度申立に関する相談が増えている印象です。必要に応じて関係機関や地域住民との連携を図りながら課題解決に向けた支援を行いました。令和 5 年 10 月より地域包括支援センターが 2 か所となり、相談件数も分散されているため、令和 5 年度より件数は減少しています。

相談件数実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 6 年度	実 件 数	84	72	75	85	76	66	74	78	65	83	61	69	888
	延 件 数	131	116	118	124	116	102	116	130	130	143	99	120	1,445

※令和 5 年度実績 実件数 1,254 件、延べ 2,056 件

(イ) 介護予防ケアマネジメント

要支援 1・2 の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう援助（相

談・ケアプラン作成・サービス調整等)を行いました。令和5年10月より地域包括支援センターが2か所となったため地域包括直接担当プラン件数も分散し減少していますが、令和6年度の介護保険の一部改正により、令和6年5月より町内居宅介護支援事業所1か所が介護予防支援事業所として指定を受け、地域包括を介さずに直接契約し介護予防支援のケースを担当することになったため、委託プランの総数も令和5年度より大幅に減少しています。

プラン作成件数実績

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	地域包括	99	98	98	101	99	99	99	97	95	90	92	95	1,162
	居宅介護支援事業所へ委託	127	124	107	102	101	96	100	99	102	94	92	94	1,238
合計		226	222	205	203	200	195	199	196	197	184	184	189	2,400

※令和5年度実績 合計 3,566件

(ウ) 介護支援専門員(ケアマネジャー)支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて協働でケースに関わりました。また、猪名川町介護保険サービス事業所・ケアマネ連絡会のサポート役として、企画・運営に参加しました。

(エ) 成年後見相談

成年後見制度の啓発・相談機能の強化として、社会福祉士会ばあととなあ兵庫より相談員を派遣していただき、毎月第3金曜日10時から12時に個別相談を実施し、相談件数は9件となりました(令和5年度実績 9件)。また成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

成年後見普及啓発講座

開催日: 6月29日(土)
場 所: 総合福祉(ゆうあい)センター
内 容: 「成年後見制度の概要、専門職によるパネルディスカッション」
講 師: 司法書士 名倉充彦氏 社会福祉士 木高壽子氏
参加者: 12名

(オ) 高齢者のための権利擁護なんでも相談

新規事業として、まだ判断能力は保っておられるが身内に乏しい方・頼れな

い方の身元保証問題やその他権利擁護に関わる相談を想定し、司法書士会に相談員を派遣していただきました。毎月第2金曜日10時から12時に成年後見以外の個別相談を実施し、相談件数は11件となりました。

イ 生活支援体制整備事業

「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援を実施しました。各個人や地域からの相談を受付し、地域や関係機関につなぐほか、支え合い活動に関する座談会等を実施。これまでにアンケート調査を実施した大島まち協と松尾台まち協の地区内では、支え合いの地域づくりを目的とした話し合いを継続し、大島地区では「大島たすけ愛の会」が発足し、地域からの依頼により活動を行っており、その伴走支援を継続しています。伏見台地区でも「伏見台支え合いの会」の立ち上げに向け、地域高齢者の困りごとを聞き、関係機関等につなげる取り組みについて話し合いを進めています。

また、地域での居場所づくりを目的とした活動の啓発にも力を入れ、体操教室・サロン等の通いの場が多く地域で実施されています。その中で「通いの場に行きたくても移動手段がなくて行けない」との声から、ボランティア活動センター、地域包括支援センターと協働で、地域で課題となっている「移動支援」に関するテーマで地域応援ボランティア養成講座を行い、地域の担い手づくりに取り組みました。講座後も継続支援を行い、サロンや体操教室等「通いの場」への移動支援を行う「移動支援ボランティアいな号」グループが立ち上がり、活動につながりつつあります。

ウ 認知症高齢者見守り事業

「やすらぎ支援員」（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて「なじみの関係」を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的としています。

	利用人数	延べ利用回数
令和6年度	4名	53回

エ 認知症地域支援・ケア向上事業

(ア) 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す全国的な取り組みです。令和6年度は、認知症サポーター養成講座を12回開催し、381名の認知症サポーターを養成しました。

	開催回数	サポーター数
令和6年度	12回	381名

※令和5年度実績 12回、353名

(イ) 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識及び技術の習得を目的に開催しました。令和6年度は、世界アルツハイマー月間に合わせて、猪名川町立図書館と共催で認知症について「知る・ふれる・考える」ことができる内容で企画し「オレンジフェスタ」を開催しました。老若男女で楽しみながら認知症に関心を持っていただく内容となり好評でした。

開催日：9月14日（土）
場 所：猪名川町立図書館1階ロビー、2階視聴覚室
内 容：講演「若年性認知症当事者トークショー+写真展示」 講師 下坂厚氏 いなぼうと撮影、オレンジの花配布、認知症クイズスタンプラリー ロボ隊長缶バッジ作り、いちごつみゲーム、駄菓子屋、紙芝居 ゆう友サロン・ゆうあいデイ・せいふう北田原作品展示 ヘルプカード作り、おもちゃ図書館、しゃべりば、認知症関連本展 示・洋画名場面集、オレンジC a f e、介護相談等
参加者：77名

(ウ) オレンジC a f e（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職などが気軽に参加できる場所とし、介護相談のきっかけや地域とのつながり作りを目的に実施しました。

地域包括主催のオレンジC a f e、主催者と協働開催（出張型）のオレンジC a f eや、男性介護者向けの「おやじの会」に加え、令和6年度は新たに移動型のオレンジC a f eを企画し地域のサロンの場をお借りして開催しました。また、関係8団体・事業所と地域包括とで意見交換会を行い、オレンジC a f eの充実を図るための協議を行いました。若年性認知症の当事者の居場所として「ゆう友サロン」も月2回で開催しました。

	場所・名称	開催回数	参加人数
地域包括 主催	日生中央サピエ	9	199
	オレンジフェスタ	1	77
	だがしや（図書館）	2	70
	おやじの会	2	9
協働開催 （出張型）	小多機オアシス猪名川	4	30
	喫茶ナイスデイ	9	65

	→若葉自治会館		
	イオン猪名川	6	139
	せいふう北田原	2	347
移動型	①サロンよりみち	2	71
	②ニコニコサロン	1	16
合計		38	1,023

※令和5年度実績 30回、624人

オ 地域介護予防活動支援事業

(ア) 脳の健康教室モデル及び自主教室運営支援

認知症予防・集いの場の確保・ボランティア活動の場の提供を目的として、「脳の健康教室」を実施しています。現在町内4か所で実施しており、自主グループへの支援として、教材管理、活動事務経費助成等の支援を行いました。

(イ) 脳の健康教室サポーター養成講座

サポーターが充足していたため、令和6年度は実施しておりません。

(ウ) 健康長寿体操教室運営支援

健康寿命延伸のため身近な地域にて体操教室が展開されており、その支援を実施しました。また12月には代表者の交流会を行い、情報交換を行いました。

健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	11	北田原すみれ倶楽部体操教室
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	12	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	13	つつじが丘健やか体操
4	いきいき体操日生中央教室	14	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	伏見台チェアトレーニング教室	15	やないづ体操クラブ
6	パークタウン東体操教室	16	柏原健康体操
7	猪名川台ちょこっと体操	17	ふらっと体操教室
8	東山いきいき元気倶楽部	18	広根健康長寿体操教室
9	清水健康体操教室	19	西畑体操教室
10	若葉いきいき体操教室ファースト	20	杉生老人クラブ

(エ) いきいき百歳体操教室

健康寿命延伸のために身近な場所で少人数から取り組めるよう、令和4年度よりいきいき百歳体操教室事業を開始しました。広報啓発に加え、体験会等実施により、新たに3教室が立ち上がりました。また、猪名川町と共同で、猪名川町バージョンのDVD作成にも取り組んでおり、令和7年度完成予定です。

いきいき百歳体操体験会実施一覧 (令和5年度実績 5か所・197名)

	実施日	実施場所	参加人数
1	4月4日(木)	脳健康教室(ヴィラ櫛別邸玻璃)	10
2	4月15日(月)	オレンジカフェ(イオンモール猪名川)	6
3	4月19日(金)	みんなの広場	6
4	4月28日(日)	オレンジカフェ(せいふう北田原)	15
5	5月14日(火)	おにぎり会	13
6	6月~7月	ゆうあい体験教室(全8回)	97
7	7月11日(木)	健康づくり講演会	21
8	7月26日(金)	サロンあじさい	10
9	8月5日(月)	白金プラチナ倶楽部	12
10	10月1日(火)	尾川さん宅	6
11	10月12日(土)	道の駅	8
12	10月22日(火)	シニア大学	37
13	10月~11月	ゆうあい体験教室(全8回)	41
14	11月2日(土)	ふれあいサロン	20
15	11月21日(木)	ほっとサロン絆	19
16	12月10日(火)	サロンよりみち	21
17	1月14日(火)	おにぎり会	16
18	2月3日(月)	白金プラチナ倶楽部	17
19	2月9日(日)	演芸発表会	166
20	2月28日(金)	つつじが丘自治会館	9
21	2月~3月	猪名川町立図書館談話室(全2回)	17
22	3月3日(月)	白金プラチナ倶楽部	17
合 計			584

いきいき百歳体操教室一覧

	教室名	地域
1	あゆみ会	伏見台
2	原・内馬場地区シルバーエイジ体操教室	原・内馬場
3	笑顔サロン「尾川っち」	つつじが丘
4	100歳体操224	つつじが丘

(オ) ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所を立ち上げるための支援を行いました。新たに六瀬地区にてサロンが開設され、高齢者をはじめ地域の住民の居場所

となりました。また、令和6年度初めて「通いの場フェス」を行い、サロンをはじめ、体操教室や脳の健康教室等、通いの場実施者同士がつながり、交流する良い機会となりました。

ふれあい・いきいきサロン開設状況

	サロン名	地域名
1	ほっとサロン	猪名川荘苑
2	わ（話・和・輪・環・把・羽）の会	広根ニューハイツ
3	若葉活き活きサロン「スマイル」	若葉
4	にこにこサロン	旭ヶ丘
5	サロン島村	島
6	伏見台自治会サロン「いっぷく亭」	伏見台
7	えんがわ CAFE	松尾台
8	白金いきいきサロン	白金
9	猪名川台あそぼう会	猪名川台
10	すこやかサロン	つつじが丘
11	清水ふれあいサロン	清水
12	伏見台いこいの広場	伏見台
13	杉生いきいきサロン（休止中）	杉生
14	ハートフルサロン（休止中）	仁頂寺・川向
15	西畑サロン	西畑
16	地域の茶の間 岡田っ家	伏見台
17	サロンよりみち	伏見台
18	おしゃべり茶屋	猪名川荘苑
19	ふらっとサロン	六瀬

通いの場フェス

開催日：2月12日（水）
 場 所：猪名川町文化体育館（イナホール）小ホール
 内 容：①講演「つながる ひろがる 通いの場」
 講師：公益財団法人さわやか福祉財団 常務理事 鶴山芳子氏
 ②活動紹介
 猪名川台あそぼう会 前田信子氏（サロン）
 旭ヶ丘健康体操クラブ 甲斐泰雄氏（健康長寿体操教室）
 脳トレサロン 今村恵子氏（脳の健康教室）
 笑顔サロン「尾川っち」 尾川悦子氏（いきいき百歳体操教室）
 ③交流会
 参加者：53名

カ 認知症初期集中支援促進事業

支援チーム員と行政において、6回会議を開催しました。新規2件、終了1件、モニタリング中5件となりました。啓発活動として町広報に掲載しました。

最終引継ぎ先	件数 (件)
ケアマネジャーと介護保険制度の利用	3
医療機関入院	1

キ 介護予防普及啓発事業

食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。「すこやか食生活講座」と題してPR活動を行い、老人会や地域のサロン等において、講話や食事会を実施しました。また令和6年度も、一体化事業の一環として栄養に関する講座を実施しました。

健康づくり講演会 (令和5年度は計1回、26名)

開催日：7月11日(木)
場 所：中央公民館
内 容：食生活と健康に関する講演会
参加者：21名

すこやか食生活講座 (令和5年度は2件、45名)

日付	団体名	地区	内容	参加人数
11月23日	伏見台サロン「いっぷく亭」	伏見台	講座&食事	30
12月6日	ふらっと楽楽教室	六瀬	講座&試食	14
12月14日	杉生老人会	杉生	ミニ講座&食事	5
2月27日	ほっとサロン	荘苑	講座&試食	16
3月5日	原・内馬場シルバーエイジ体操教室	内馬場	ミニ講座&食事	9
合 計				74

個別等での相談活動や食事指導 (令和5年度は191件、367名)

指導・相談形態	件数 (件)	対象人数 (名)
家庭訪問指導	29	29
個別相談	7	7
集団指導 (うち出前講座)	17 (16)	189 (179)
デイサービスにおける食事形態個別対応	70	70
合計	123 (16)	295 (179)

出前講座にて地域での指導が増加した反面、デイサービスにおける食事形態個別対応が減少となりました。

(4) 地域ふれあい事業

高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」(10月10日(木)開催、参加者約170名)と文化活動「演芸発表会」(2月9日(土)開催、参加者約177名)の運営補助を行いました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

7 福祉学習(教育)啓発活動

(1) 福祉教育活動事業

ア 福祉教育協力校の指定(町内小学校6校・中学校2校の指定)

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しました。

各学校規模に応じ福祉講演会・校区内の高齢者との交流・高齢者疑似体験や車いす体験などの福祉体験を積極的に取り組まれました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

イ 福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験・視覚障がい者疑似体験学習時に使用する物品・点字学習時の点字版などの貸出を行いました。

ウ 学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「聴覚障がいの学習」については手話サークルマジック、「視覚障がいの学習」については点訳ボランティアてんてまりの協力を得て実施しました。2学期に集中し福祉学習の依頼があり、認知症サポーター養成講座や高齢者疑似体験・車いす体験学習の協力を行いました。学年ごとに体験学習を取り入れたり福祉講演会を実施されたりと様々な福祉学習を取り組んでもらえました。

福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催回数	内容	延べ参加人数
猪名川小学校	5回	点字学習、高齢者疑似体験、車いす体験、聴覚障がいについての話と手話体験、認知症キッズサポーター養成講座	253
楊津小学校	4回	聴覚障がいについての話と手話体験、点字学習、認知症キッズサポーター養成講座、福祉講演会、ゆうあいセンター、希望の家すばる見学	88

大島小学校	5回	車いす・アイマスク体験、福祉講演会、点字学習、手話体験、認知症キッズサポーター養成講座	97
松尾台小学校	5回	車いす体験、聴覚障がいについての話と手話体験、点字学習、認知症キッズサポーター養成講座、福祉講演会	209
白金小学校	6回	点字学習、車いす・アイマスク体験、高齢者疑似体験、認知症キッズサポーター養成講座、聴覚障がいについての話と手話体験、福祉講演会	443
つつじが丘小学校	6回	車いす・アイマスク体験、福祉講演会、聴覚障がいについての話と手話体験、認知症キッズサポーター養成講座・高齢者疑似体験	346
清陵中学校	1回	福祉講演会	310
猪名川高校	1回	福祉学習講座	22
合計 ※（ ）人数は、活動したボランティアの人数			1,768名（120名）

※令和5年度1,833名（ボランティア活動者196名）

エ 出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を実施しました。令和5年度より微増で依頼が22件となりました。

出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所
1	4月9日（火）	予防救急～自宅で気を付ける事～	24	サロンよりみち ／伏見台自治会館
2	5月8日（水）	地域包括に連絡する時ってどんな時？	59	民児協定例会 ／社会福社会館
3	6月8日（土）	いざという時の相談の仕方、施設に係る費用について	18	ふれあい喫茶（紫合自治会） ／紫合公会堂
4	6月8日（土）	シニア世代のライフデザイン	31	伏見台福祉委員会 ／伏見台自治会館
5	6月20日（木）	最新の特殊詐欺傾向と対策～騙されないぞ！！	20	ほっとサロン絆（白金福祉委員会） ／白金まち協会館

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所
6	6月26日(水)	認知症予防・脳トレ	16	猪名川台いこいの会 ／猪名川台自治会館
7	7月18日(木)	スマホ講座～個人セキュリティ対策～	12	ほっとサロン絆(白金福祉委員会)／白金まち協会館
8	9月28日(土)	介護保険の勉強会	16	松尾台老人クラブみどり会 ／松尾台自治会館
9	10月1日(火)	学ぼう!ストレッチ体操①	18	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
10	10月18日(金)	学ぼう!ストレッチ体操②	20	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
11	11月11日(月)	スマホ講座～LINEの使い方～	34	脳トレサロン ／日生公民館
12	11月13日(水)	脳トレ(もんじろう、熟ごろう)	46	若葉むつみ会 ／パークハウス
13	11月21日(木)	元気なうちに備えよう～認知症予防といきいき百歳体操～	19	ほっとサロン絆(白金福祉委員会)／白金まち協会館
14	11月27日(水)	学ぼう!ストレッチ体操③	12	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
15	12月8日(日)	健康・高齢期に多い疾患等	20	伏見台福祉委員会 ／伏見台自治会館
16	12月20日(金)	学ぼう!ストレッチ体操④	13	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
17	1月17日(金)	学ぼう!ストレッチ体操⑤	17	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
18	1月21日(火)	聞こえの勉強会	20	サロンよりみち ／伏見台自治会館
19	2月13日(木)	応急手当講習会	13	旭ヶ丘健康体操クラブ ／旭ヶ丘自治会館
20	2月21日(金)	学ぼう!ストレッチ体操⑥	14	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
21	3月21日(金)	学ぼう!ストレッチ体操⑦	18	松尾台福祉委員会 ／松尾台自治会館
22	3月25日(火)	お薬の話 +マイナ保険証の話	20	サロンよりみち ／伏見台自治会館
合計				延べ480名/10団体/全22回 (令和5年度 延べ432名/15団体/全18回)

オ 福祉学習を考える集いの開催

	内容	開催場所	参加人数
7月31日(水)	時代・社会の変化を踏まえた福祉教育のアップデート	総合福祉(ゆうあい)センター	10名

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践され、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に実施しました。

カ トライやるウィークへの協力

10月猪名川中学校1名の受け入れを行いました。様々な地域福祉事業を体験してもらいました。

8 調査・情報活動

(1) 啓発・情報活動事業

社協の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実に努めました。また、新たにインスタグラムでの配信も始め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

ア 社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、7月、10月、1月の年4回(1回12,000部)発行し、全世帯に配布しました。掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

イ ホームページの充実

より良いホームページ作成を目指し、福祉情報の発信や社協活動のPRに努め、特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。また、講座情報やイベント情報等、SNSを活用し配信しました。

ウ 町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

エ 社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページに掲載するとともに、「ふれあい伝言板」(役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置)にて福

社情報の発信や社協活動のPRに努めました。

9 組織基盤づくり活動

(1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保し、より適正で効率的な法人運営に取り組みました。また新たな取り組みとして社協の正規職員を中心に「社協あり方会議」を立上げ、職員研修等を実施しました。

ア 定款・諸規程等の整備・改廃

令和6年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12 諸会議」を参照。

イ 地域福祉推進計画の策定と評価

令和2年度～6年度までの5か年に亘る第7次猪名川町地域福祉推進計画について5年目の各事業の評価と5か年の総合評価を実施、また令和7年度～令和11年度に亘る第8次猪名川町地域福祉推進計画については、ワークショップ等を開催し現状と課題を抽出し、策定委員会や社協あり方会議で審議を経て、「ともに暮らせるまちづくり」を福祉目標とし策定しました。

ウ 猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施しました。

エ 役員・職員研修の充実

職員研修として救急救命講習、ハラスメント防止研修、災害ボランティアセンター研修に加え、正規職員中心に「社協あり方会議」を立上げ月1回研修等を実施しました。その他、国家資格等取得に伴う職員の資格取得助成制度の活用が1件ありました。

(2) 自主財源促進活動事業

ア 社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となり、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。また、賛助・団体会員の募集も行いご協力をいただきました。

会員会費の実績

(単位：円)

会員の種類	会費額	令和6年度		令和5年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,152,600	47 自治会	2,232,137	48 自治会
賛助会員	5,000	265,500	51 事業所	303,000	44 事業所
団体会員	5,000	10,000	2 団体	10,000	2 団体
合計		2,428,100		2,545,137	

(3) 共同募金運動への協力事業

ア 赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。令和6年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取組みとし、町内自治会、学校、法人等の多くの方々の協力を得ることができました。街頭募金活動は4カ所で実施し、さらに、「いながわまつり」において赤い羽根共同募金として出展し、バザー募金を実施しました。

また、1月から3月を期間拡大募金と位置付け、募金箱の設置での募金啓発活動を実施しました。

募金実績（期間拡大募金実績含む）

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
令和6年度	1,915,000	1,749,633	91.36%

※令和5年度募金額実績 1,753,030円

募金内訳別実績額（期間拡大募金実績含む）

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,073,795	学校募金	82,073
街頭募金	62,035	イベント募金	80,904
法人募金	161,000	その他（募金箱）	24,546
職域募金	265,280	-	-
合計		1,749,633	

イ 歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと

12月1日から12月31日の間、運動を実施しました。

募金活動においても、街頭募金活動を再開し実施しました。令和6年度は、いながわ子供の家入所者へのお年玉として配分のほか、児童扶養手当受給者世帯の小中学校入学支度金、町内幼稚園・保育園へクリスマスプレゼントとして配分しました。

募金実績

(単位：円)

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	654,977	
2	街頭募金	41,275	
3	募金箱	8,080	
合計		704,332	

令和5年度募金実績 671,957円

配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	配分基準額	件数	備考
1	生活困窮世帯	140,000	20,000	7	
2	児童養護施設	217,000	10,000	6	お年玉として小・中・高校生へ配分
			8,000	14	
			5,000	9	
3	児童扶養手当受給者	120,000	20,000	6	小・中入学準備金
4	町内幼稚園・保育園	180,000	30,000	6	クリスマスプレゼント
合計		657,000		48	

(4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

ア 運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行いました。令和6年度も、いながわ子供の家を退所する児童に対して進学・就労の支度準備金として、運営委員会において承認を得て払出を行いました。

イ 金銭・物品の預託と払出

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	196,824 円 (7件)	・六瀬コンサート ・仏教会 ・天乳寺 ・個人	一般	319,100 円 (24件)	・摂丹地区里親会 ・ひょうご子ども家庭福祉財団 ・日常生活自立支援事業利用料一部助成 15 件 ・フードバンク関西 ・地域居場所づくり応援助成 5 件 ・児童養護施設
	指定	200,000 円 (4件)	・個人 ・チャリティコンサート	指定	200,000 円 (2件)	・希望の家すばる ・いながわ子どもの家
	合計	396,824 円		合計	519,100 円	
物品	一般	12 件	・衣類 ・オムツ類 ・シャワーキャリー	一般	8 件	・町内福祉施設などへ払出し ・個人
	指定	7 件	・文房具 ・マスク ・シャワーチェア ・手芸用品 ・粉ミルク	指定	6 件	・福祉用具貸与事業 ・地域包括支援センター ・子育て支援センター ・おもちゃ図書館 など
	合計	19 件		合計	14 件	

ウ 地域の居場所づくり応援支援助成

地域で誰もが自由に集える居場所、サロンを運営する団体に対して善意銀行から運営助成を行うもので、申請のあった猪名川台あそぼう会・旭ヶ丘に対して助成金（1 団体につき 20,000 円）の交付を実施しました。

10 団体・法人支援活動

(1) 福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取り組ましました。

- ・ 民生委員児童委員協議会
- ・ 老人クラブ連合会
- ・ 遺族会
- ・ 身体障害者福祉会
- ・ 身体障害者父母の会
- ・ 手をつなぐ育成会
- ・ こころ猪名川家族会

(2) 猪名川町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット猪名川）への参画

2ヶ月に1度、実務者会議を開催し、本格的な取組みに向けて他法人と協議を行いました。その中で生活困窮者支援としてフードバンクへの協力、またいながわまつりへ出店し同協議会の啓発を行いました。

1.1 町指定管理事業

(1) 猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。令和6年度も屋内プール設備故障のため利用中止が続いていますが、それ以外では休止することなく利用いただくことが出来ました。

ア 利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養 娯楽室	研修室	ドーム
令和 6 年度	件数	37,386	0	635	206	996
	人数	37,386	0	4,748	2,157	7,384

イ 施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
6月	ヒアリンググループ修繕	14,850
8月	給湯管膨張タンク更新工事 (高齢者デイサービス事業と折半)	90,750
8月	厨房内 湯がき器部品交換	16,500
9月	厨房洗浄ホース交換修理	34,100
9月	動力版 排水ポンプマグネットスイッチ取替え工事	52,800
11月	デイサービス トイレ電灯修繕部品	2,824
2月	デイサービス 洋式トイレ詰り修繕	17,600
2月	B1 敷地内排水管詰り緊急対応	187,000
3月	2F エレベーターホール照明器具交換工事	79,200
3月	パコティンヒーター出力低下調査及び処置対応	60,500
3月	パコティンヒーターバーナー部品取替え工事	110,000
合計		666,124

1 2 諸会議

次頁表のとおり、法人運営に係る諸会議について報告します。

(1) 理事会開催状況

(理事定数 9 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R6. 5. 15	理事会 (1 回)	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第 96 条)	議案第 1 号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程(生活介護、就労継続支援 B 型)の一部改正について 第 1 号議決書面議決
R6. 6. 5	理事会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 採決状況	令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 清陵中学校区地域包括支援センター(基幹型)(指定介護予防・介護予防ケアマネジメント事業)運営規程の一部改正について ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程の一部改正について ゆうあいデイサービスセンター指定第 1 号通所事業運営規程の一部改正について ゆうあいヘルパーステーション指定訪問介護事業運営規程の一部改正について ゆうあいヘルパーステーション指定第 1 号訪問事業運営規程の一部改正について ゆうあいヘルパーステーション指定居宅介護・指定重度訪問介護事業運営規程の一部改正について 令和 6 年度第 1 回評議員会の招集日時、場所、議題等について 第 2 号～第 10 号すべて議決
R6. 9. 26	理事会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 11 号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員の推薦候補者について 第 11 号議決
R6. 12. 27	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 12 号 協議事項	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 第 12 号議決 令和 6 年度人事院勧告の概要について
R7. 1. 29	理事会 (5 回)	総合福祉センター	議案第 13 号 議案第 14 号	令和 6 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員・理事・監事選任規程の一部改正について

年月日	会議名	場 所	内 容	
			議案第 15 号 採 決 状 況	令和 6 年度第 2 回評議員会の招集日時、場所、議題等について 第 13 号～第 15 号すべて議決
R7. 3. 19	理事会 (6 回)	総合福祉センター	議案第 16 号 議案第 17 号 議案第 18 号 議案第 19 号 議案第 20 号 議案第 21 号 議案第 22 号 議案第 23 号 議案第 24 号 採 決 状 況	令和 6 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算 (第 2 号) について 令和 7 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和 7 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程 (生活介護、就労継続支援 B 型) の一部改正について ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約について 令和 6 年度第 3 回評議員会の招集日時、場所、議題について 第 16 号～第 24 号すべて議決

(2) 監事会開催状況

(監事定数 2 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R6. 5. 22	監査	総合福祉センター	令和 5 年度事業報告・収入支出決算監査 監事 2 名出席	

(3) 評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R6. 6. 20	評議員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 採 決 状 況	令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和 5 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 第 1 号～第 3 号すべて議決
R7. 2. 5	評議員会	総合福祉センター	議案第 3 号	令和 6 年度社会福祉法人猪名川町社

年月日	会議名	場 所	内 容	
	(2回)		議案第4号 採決状況	会福祉協議会補正予算(第1号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員・理事・監事選任規程の一部改正について 第3号・第4号議決
R7.3.28	評議員会 (3回)	総合福祉センター	議案第5号 議案第6号 議案第7号 採決状況	令和6年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事補正予算(第2号)について 令和7年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和7年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 第5号～第8号すべて議決

(4) 評議員選任・解任委員会

(委員定数5名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R6.11.1	委員会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員推薦候補者の選任について 第1号議決

III 役員の状況

1 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況 (令和7年3月31日現在)

(1) 理事 (定員7名以上9名以内)

(任期 令和5年6月20日～令和6年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

会長	村山 興治
副会長	北上 倫聖
理事	守谷 教彦
〃	坂田 哲啓
〃	安藤 邦美
〃	堀口 初恵
〃	紺家 儀二
〃	大西 崇
常務理事	柚木 健

(2) 監事 (定員2名以内)

(任期 令和5年6月23日～令和6年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

監事	家門 正幸
監事	鮫島 秀一

(3) 評議員 (定員14名以上17名以内)

(任期 令和3年6月23日から選任後4年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結まで)

※順不同

評議員	今仲 啓之	評議員	堀 寿美子
〃	安武 雅子	〃	太田 はるよ
〃	森中 清宏	〃	谷口 稔
〃	関根 純子	〃	山田 陽一
〃	大上 富士	〃	和泉 輝夫
〃	高岡 美津子	〃	伊藤 茂子
〃	安達 隆	〃	板橋 汎子
〃	今泉 友幸	〃	木高 壽子
〃	森永 陽子		